

牟呂中学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・当校は、「大志」を校訓とし、「Be Ambitious 明日の自分づくり」を活動テーマとして、ESDの実践を通して、多面的・総合的に考える力、他者と協力する態度、すすんで地域の活動に参加する態度、コミュニケーション力の育成を目標とした。

・活動の実際

①ポストカード活動（地域に貢献する活動）

（全校生徒）

牟呂中校区には、約 1200 名のお年寄りが住んでいる。また、校区内には高齢者福祉施設がいくつかある。年 2 回（「敬老の日」「クリスマス」）ポストカードを送る活動をおこない、お年寄りとの交流を図ってきた。生徒が作成した原画に言葉を添え、一人一人が丁寧に色を塗って、施設に届けている。この活動を通して、お年寄りを身近で大切な存在として意識する生徒の育成を目ざしている。



〔生徒作成のポストカード〕

②授業での取り組み

（総合的な学習の時間）

障害のある人の気持ちや苦勞を感じるため、車いすや点字体験をしたり、障害のある人を支える立場の人の話を聞いたり、調べたことをもとに話し合いを行ったりする中で、すべての人が福祉を享受できる社会の在り方を考えた。

生徒からは「障害のある人への理解をさらに深め、身近なことから取り組みたい」と、福祉を自分ごととしてとらえ、自分ができることについて真剣に考える姿が見られた。授業を通して生徒一人一人が社会の一員として、よりよい社会の形成者としての自覚を育んでいけるようにしている。



〔授業での生徒の様子〕

③校区清掃活動（地域に貢献する活動）（1年生）

牟呂用水清流化運動（校区清掃活動）として、昭和 50 年から実施されている牟呂用水清流化運動は、牟呂用水の整備に伴い、校区清掃活動も取り入れるなど時代とともに形を変えながら継続している。10月下旬に、学級ごとに校区内にある公園や公民館、牟呂用水沿いの清掃活動を行った。ゴミ袋がいっぱいになるまで草を抜いたり、ゴミを拾ったりする生徒の姿を見ることができた。校区の各団体、保護者、校区の住民とともに活動を行うことで、校区の一員としての自覚を高め、校区を愛する心を育てている。



〔活動する生徒〕